

科目名	卒業研究ゼミ2（卒業必修）		
授業形態	演習	学年	2
開講時期	2023年度 前期～後期	単位数	2
担当教員	木谷 耕平		
内容および計画	<p>経済学は人間の様々な意思決定や資源配分の方法を考える学問であり、その分析対象は幅広い。このゼミでは、経済学の考え方に基づいて、各自が関心を持つ社会問題について研究し、卒業研究の完成を目指す。前期は、はじめに論文の書き方や研究の進め方について学ぶ。その後、各自が関心を持つテーマを決め、そのテーマについて何がすでにわかっていて、何がまだわかっていないのかを明らかにする。そのために各自で先行研究を調査・精読し、その成果をゼミで発表してもらう。先行研究調査を踏まえ、研究テーマと分析手法を決定する。</p> <p>後期は各自で研究を進め、その成果をゼミで共有し、議論する。毎週または隔週で研究の進捗状況を報告してもらう予定である。</p> <p>キーワード：経済学、実証研究、論文作成</p>		
1	<p>イントロダクション：ゼミの進め方</p> <p>この回では、1年間のゼミの予定や進め方について説明する。</p>		
2	<p>論文とは何か。論文を書くための基本</p> <p>教科書をもとに、レポートと論文の違いや、論文に含めるべき内容について学ぶ。また、「良い」レポートや論文にはどのような特徴があるのか、いくつかの事例を用いて議論する。</p>		
3	<p>リサーチ・クエスチョンの設定</p> <p>この回では、教科書のワークシートを用いて、自分自身のリサーチ・クエスチョンを考える。また、その問いに対して想定される答え（仮説）を整理する。</p>		
4	<p>先行研究の報告・議論①</p> <p>各自がリサーチ・クエスチョンに基づいて先行研究を調査し、最も重要と思われる論文の内容について報告する。各回で2名ずつ報告する。報告では、その先行研究の問いや仮説、方法、結果、政策的意義などについて述べる。報告者以外の学生も報告論文を読み、内容についてコメントや質問をすることで、論文を批判的に読むことを学ぶ。</p>		
5	<p>先行研究の報告・議論②</p> <p>前回に引き続き、先行研究の内容について2名が報告する。</p>		
6	<p>先行研究の報告・議論③</p> <p>前回に引き続き、先行研究の内容について2名が報告する。</p>		
7	<p>先行研究の報告・議論④</p> <p>前回に引き続き、先行研究の内容について2名が報告する。</p>		
8	<p>先行研究の報告・議論⑤</p> <p>この回からは、1回目の報告とは別の先行研究について、毎回2名ずつ報告してもらう。報告に含むべき内容は前回と同じであるが、今回の報告では、研究の方法（調査の方法、統計分析の手法など）をより具体的に説明すること。それにより、自分の研究テーマで用いられる研究方法について理解を深める。</p>		
9	<p>先行研究の報告・議論⑥</p> <p>前回に引き続き、先行研究の内容について2名が報告する。</p>		
10	<p>先行研究の報告・議論⑦</p> <p>前回に引き続き、先行研究の内容について2名が報告する。</p>		
11	<p>先行研究の報告・議論⑧</p> <p>前回に引き続き、先行研究の内容について2名が報告する。</p>		
12	<p>調査・分析の方法：アンケート調査の進め方</p> <p>この回では、研究方法のひとつとして、アンケート調査について学ぶ。実際の調査票を参考に、調査票に含むべき内容、質問の仕方、作成時の注意点などについて議論する。</p>		
13	<p>調査・分析の方法：統計分析の方法①</p> <p>仮説を検証するためには、収集したデータを分析する必要がある。この回では、分析のための図表の作成の仕方や、平均値の比較の方法について学ぶ。</p>		
14	<p>調査・分析の方法：統計分析の方法②</p> <p>経済学の実証研究においてよく用いられる分析方法として、回帰分析がある。この回では、回帰分析の考え方やエクセルでの実行の仕方、分析結果の意味について学ぶ。</p>		

15	研究計画の作成 前期に学んだ内容を踏まえ、後期の開始時点までに、研究において何をどこまで進めるのかを整理し、発表してもらう。
16	研究の進捗状況の報告と議論① 各自のこれまでの研究の進捗状況を報告し、ゼミ全体で問題点やその改善策を議論する。報告者（1名）は、コメントをもらい、研究をさらに進める材料とする。他のゼミ生は、コメントをすることで、建設的に議論することの重要性や意義を学ぶ。
17	研究の進捗状況の報告と議論② 前回に引き続き、これまでの研究の進捗状況を報告し、ゼミ全体で議論する。
18	研究の進捗状況の報告と議論③ 前回に引き続き、これまでの研究の進捗状況を報告し、ゼミ全体で議論する。
19	研究の進捗状況の報告と議論④ 前回に引き続き、これまでの研究の進捗状況を報告し、ゼミ全体で議論する。
20	研究の進捗状況の報告と議論⑤ 前回に引き続き、これまでの研究の進捗状況を報告し、ゼミ全体で議論する。
21	研究の進捗状況の報告と議論⑥ 前回に引き続き、これまでの研究の進捗状況を報告し、ゼミ全体で議論する。
22	研究の進捗状況の報告と議論⑦ 前回に引き続き、これまでの研究の進捗状況を報告し、ゼミ全体で議論する。
23	研究の進捗状況の報告と議論⑧ 前回に引き続き、これまでの研究の進捗状況を報告し、ゼミ全体で議論する。
24	プレゼンテーションの方法 この回では、良いプレゼンテーションとは何かについて、ゼミで議論する。卒業研究の発表に限らず、プレゼンテーションのスキルは社会で活躍する上で欠かせない。ゼミでの議論を通して、良いプレゼンに共通する要素とは何かを学ぶ。
25	ゼミ内での中間報告会 卒業研究の完成に向け、ゼミの1年生を対象に中間報告を行う。予備知識が少ない1年生からプレゼンテーションについてコメントをもらうことで、聞き手に内容がきちんと伝わっているのか、どうすれば改善できるのかを考える。
26	卒業研究原稿の推敲① 各自が作成した原稿をゼミ生全員で共有し、修正すべき点や改善点について議論する。他のゼミ生からコメントをもらったり、コメントをしたりすることで、他人に伝わりやすい文章とはどのようなものなのかを学ぶ。
27	卒業研究原稿の推敲② 前回に引き続き、各自が作成した原稿をゼミ生全員で共有し、修正すべき点や改善点について議論する。
28	卒業研究原稿の推敲③ 前回に引き続き、各自が作成した原稿をゼミ生全員で共有し、修正すべき点や改善点について議論する。
29	卒業研究原稿の推敲④ 前回に引き続き、各自が作成した原稿をゼミ生全員で共有し、修正すべき点や改善点について議論する。
30	ゼミの総括 この回では、1年間のゼミ活動を通じて何を学んだのか、それが今後、社会で活躍することとどう結びつくのかを全員で議論し、総括とする。

教科書

タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
学生のレポート・論文作成トレーニング 改訂版	桑田てるみ 編	実教出版	9784407336146	2015

特定の教科書は指定しない。	
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小浜裕久・木村福成 『経済論文の作法 第3版』 日本評論社、2011年 ・ 佐渡島紗織・坂本麻裕子・大野真澄 『レポート・論文をさらによくする「書き直し」ガイド』 大修館書店、2021年 ・ 西山敏樹・鈴木亮子・大西幸周 『データ収集・分析入門』 慶應義塾大学出版会、2014年 ・ 山本勲 『実証分析のための計量経済学』 中央経済社、2016年
成績評価	
	評価方法
	割合(%)
ゼミ活動への貢献度	15
卒業研究への取り組みと論文の完成度	70
卒業研究発表会におけるプレゼンテーション	15
学習到達目標	<p>以下の3点を到達目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①研究計画を立案し、実行できる。 ②学術的な論文を執筆できる。 ③研究成果を効果的にプレゼンテーションすることができる。
先修条件	卒業研究ゼミ1を履修済みであること。
実務経験	
その他	特別な事情のない欠席や遅刻は厳禁。ゼミの内容は、ゼミ生の研究テーマや進捗状況によって変更する場合があります。